



世界に誇るべきニッポンの100人。

世界を感動させるアーテイス、日本という枠組みを超えた美意識を発信するデザイナー、和食を無形文化遺産にした立役者の料理人、世界が認める建築家、研究者、スポーツ選手……。日本という国を支え、前進させ続けているのは、まさにもないそんな「人の力」だ。ここに登場する、世界に誇るべきニッポンの100人たちが、これからも日本のいや世界の未来をつつていく。

001: 高田 直 002: 横山 直 003: 高田 直 004: 高田 直 005: 高田 直 006: 高田 直 007: 高田 直 008: 高田 直 009: 高田 直 010: 高田 直

011: 高田 直 012: 高田 直 013: 高田 直 014: 高田 直 015: 高田 直 016: 高田 直 017: 高田 直 018: 高田 直 019: 高田 直 020: 高田 直

35 | pen with New Attitude

pen with New Attitude | 34

クリエイティブ・ディレクター << KUNIO NAKAYAMA 中山邦夫 008 音楽で日中の壁を乗り越え、世界を目指す。 100

●中国でバンド活動後イベックス・デザインでalanの中国デビューなど手がける。独立後、中国人アーティスト韓康など、北京を拠点に音楽、映像を制作。現「NEW WORLD PLUS INC.」クリエイティブ・ディレクター。

エンタメ
ENTERTAINMENT



左:「SUPER JUNIOR」の元メンバー、韓康。2012年の楽曲「小丑面具」(Clown Mask)のPVで中山がトータルプランニング。作品は中華圏のアーティストとしてWMA(ワールド・ミュージック・アワード)に初ノミネートされ国際的な評価を得た。右:昨年手がけたalan日本公演。



バンド活動で中国の聴衆と一体になり音楽の力を体感してきた中山、幾多もの挫折を乗り越え、現在は中国のエンターテインメント界と世界をつなぐ存在に。

日中間が政治的問題を抱えるいま、日本人が中国で表舞台に立つのは容易ではない。まして表舞台に立つ中国人アーティストを日本人がプロデュースするとなれば、さらに至難ではないか。中山邦夫はそれをやってのけた。現在は中国のテレビ音楽番組の審査員を務めるなど、着実に中国でのポジショニングを築いている。

代表的な仕事に映画「レッドクリフ」の主題歌で知られるalanの中国デビューのプロデュースや、世界的アーティスト韓康 (ハ

ンギョン)の楽曲「小丑面具」のPVトータルプランニングなどが挙げられる。自身の中国でのバンド活動の経験から、「表舞台に立つアーティストの気持ちがか切実にわかる」のが強み。プライベートにも親しい友人として深く付き合い、アーティストの素顔を作品づくりに活かしていく。「中国でのバンド活動で国境を吹き飛ばす音楽の力を体感してきた」という中山。その力を信じ、韓康など中国のトップアーティストたちと世界を目指す。

pen with New Attitude

4/15
2015 No.300
定価 650
円

発想と行動力で勝負する、挑戦者たち。

世界に誇るべきニッポンの100人。